

評価事例 16

単 元 名	第6学年 Unit8 My Future, My Dream
単 元 の 目 標	自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 「話すこと [発表] ウ」
言 語 活 動	中学校の生徒や教員にメッセージ動画を送るという課題を設定する。中学校生活に向けた自分の思いを知ってもらうために、入りたい部活動や楽しみたい行事、得意なことなど伝えたいことを整理して発表する。

評価の進め方

発表の時間を2時間設け、学級全員の前で1人ずつ発表させ、その様子を動画で撮影する。教員とALTは、発表の様子を見ながら評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 部活動や学校行事、職業、動作を表す語句や I want to join ~. I want to enjoy ~. I'm good at ~. I want to be ~. の表現について理解している。 <技能> 中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話している。	自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活に向けての抱負や将来の夢について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちが更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	入りたい部活動や楽しみたい行事、得意なことや将来の夢を話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例 (S = 児童, T = 教員)

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
I want to join the art club. I want to enjoy school festival. I'm good at drawing. I want to be a manga artist. What manga do you like?① I like Doraemon.②	I want to join the art club. I want to enjoy school festival. I'm good at drawing. I want to be a manga artist.	S: I want to join the art club. I want to enjoy school festival. I'm good at drawing. T: 将来の夢は何ですか? S: I want to ...
理由 入りたい部活動や楽しみたい行事、得意なことや将来の夢を話しているだけでなく、①What manga do you like?と相手に問い掛けたり、②I like Doraemon.と情報を付け加えたりして、自分の考えや気持ちが更に詳しく伝わるように話している。	理由 入りたい部活動や楽しみたい行事、得意なことや将来の夢を話している。	理由 入りたい部活動や楽しみたい行事、得意なことは話しているが、将来の夢を話していない。そのため、中学校生活への思いが十分に伝わらない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照 </div>

指導のポイント

- ・伝える相手を中学校の生徒や教員などと設定することで、児童に相手意識を持たせる。
- ・中学校生活に向けた抱負について、入りたい部活動や楽しみたい行事などを、イメージマップやXチャートなどを活用したワークシートに書かせ、伝えたいことを整理する場面を設ける。
- ・ワークシートに整理して書いたことを英語で伝えるには、どのような語句や表現を知りたいか、既習の語句や表現をどのように使えば話せば良いかを考えさせる。
- ・小中連携の例として、実際に撮影した動画を見ってもらうなど中学校と交流することも考えられる。